

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第25号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年1月12日 04時15分ごろ	
発生場所	兵庫県姫路市 家島諸島 ^{ほうせ} 坊勢島	
事故等調査の経過	平成22年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 砂利採取運搬船 第二八幡丸^{やはた}、377トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 125382、新井海運有限公司</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船底部に擦過傷及び推進器翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、坊勢島の岸壁において、砂約1,100トンを積載し、船首約3.6m、船尾約4.8mの喫水で、出航作業中、平成22年1月12日04時15分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、坊勢島の水深が浅い箇所が存在する岸壁において出航作業中、水深の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が坊勢島の水深が浅い箇所が存在する岸壁において出航作業中、水深の確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	